いやさか

27号

1983・7・17発行

日本ボーイスカウト
日野第2団・第5団

高幡CBS育成会

✤スカウト活動について
自然・人間・神　　ジャン・ルポ…2

特集・58年　夏のキャンプ地紹介

CS　岩ぎの海　　猪股末男…4
　水難事故防止法　　水上留次郎…5
CS　まほろば　　井島　敞…6
BS　天使園　　小泉和幸…8
SS　手川縦走　　石塚俊彦…10
　東京79団キャンプ予定　　編集部…10
RS　隊奉仕で自己研鑽を　　野村和彦…11
　教会関係サマースクール行事予定　　編集部…12

図ドクターからの特別寄稿
　虫歯で時間とお金を失わないように　　岩堀俊雄…12
さつき祭・うたかたの記
　やきそばや　　佐藤紘一…13
☆カブ冬季舎営の感想
　足がツメタカッタ　　長田健吾…14
　空と富士山　　須崎正哲…15
　ぼくにとってのカブスカウトとは　　ふく田たけし…16
　団委員会BS・GS合同会議　　石井，森…16
　特別基金中間報告　　事務局
◎昭和57年度高備CBS育成会総会報告　……24

スカウト豆辞典…3，9
日野2団，5団登録者現況…24
編集後記…26

・スカウト活動について私はこう思っています

自然・人間・神

ジャン・ルボ

私がカナダにいた中学生時代の何年間か、やはりボーイスカウトの活動をしていました。

そのためか日本にきて、初めてスカウトの指導者として誘われた時は、うーんそうなのかな、でも…複雑な心境（実はびっくりの方が正しい）でした。

ボーイスカウトと呼ばれる活動団体は全世界にあって、制服は同じでも、組織的にはずいぶん違うなぁーと思いましたし、同じ掟を守っても、また、同じ目的であっても、指導の形、やり方、年間プログラムのたて方など、その国によって、社会や組織の仕組みの違いなどから、活動様式も違う訳です。

こちらのボーイスカウトの指導をしている内に、この国ならではの良い発見を徐々にしました。

外面的には、社会の仕組みや組織の違いがあるにしても、スカウト活動の本来的な精神面では、世界的に同じじゃないかとわずかな経験ながらも、そう思えるようになりました。全世界に共通するボーイスカウトの深いつながり（連帯感）を感じるのです。その深いつながりを言葉で表わすとすれば、次のようになるでしょう。

自然・人間・神　です。

この三つの言葉について、ここで長い説明はしませんが、これをスカウト活動の立場からいえば、子供を大自然の中に入れ、そこで、縁の大切さをともに学ぶことです。

自然を大切にすることは、私達人間（子供とその家族、友達、リーダー、知合い等々）にかかわりのある「生きとし生けるもの」の大切さ、大事さが解ってくると思います。

山、草原、海、川、森などのすばらしい自然の中でキャンプしたり、活動をすると、私達は

辻快になり、精神的にも落着いてくる事は、経験のある方ならお解りと思います。

そして、リーダーと子供達がいろんな活動を共有することで兄弟的な結びつきができてくると思うのです。そのような経験の中から、人（子供であっても）は相手の心をのぞく（理解）言葉が醸成されてくると思います。

「人間の心の深い所で神が留まっている」という言葉が聖書の中にあります。全世界の平和のために努力すること。どういう状態になっても平和が崩れないように、自分自身がしっかり、身体も心も強くなること、ボーイスカウトの日常訓練は、そのような裏付けがあってこそと思います。

日野2団、5団、東京77団のスカウト達は、すばらしい自然に恵まれ、良き先輩の指導にも恵まれています。また、いつも人間の目にみえない神の美しさにも恵まれています。

みなさんの日常の活動が、全世界の平和の輪を拡げるもとになると信じていますし、私はすごく期待もしています。

女スカウト豆辞典

スカウツ・オウン
(Scout's Own)

スカウツ・オウンとは、「スカウト自身の司会による」という意味です。

毎年、私達のキャンプに同伴してミサを献げていたチャプレン（指導司祭）のロワゼル師は、定期休暇のため、6月3日から9月10日まで不在になります。

それで、ミサに代るものとして、スカウツ・オウンの実施が奨励されます。

これは聖職者の司会によらず、スカウト自身の司会によって行われる礼拝形式です。

スカウティングは宗教を根源としています。スカウトの掟はスカウト各自の信仰を誠実に実践することを要求しています。

自然にありのままで行い、誓いと掟の中に神に対する、つとめの部分を強調し、スカウト各自の信仰心をたかめるよう、朗読、聖歌、講話、キャンドル・サービスなどを取り入れます。

（5団団委員長・水上留次郎）

特集／58年　夏のキャンプ地紹介

カブ2団1隊・5団

岩井の海

2団1隊・猪股末男

千葉県の南房総国定公園内の岩井周辺は、別名、「子どもの海」といわれるほど、広い砂浜遠浅の海が続いている所です。

そのため、岩井の海は数十年来、幼稚園児から大学生までの人々（もちろんアダルトも）が多く愛用してきました。

また、海岸両端には磯浜があり、海の生物の豊富な所でもあり、観察にもってこい…かな？。

海ばかりじゃないんだよな！うしろの陸（山）を見てみよう。

東に南総里見八犬伝（知ってるかなぁー、お父さん、お母さんに聞いてみようね）の舞台となった山、その名を富山（とみさん）というが、山頂は二つの峰なんだ！。その上から手をかざして見てごらん、眺めは抜群であるぞよ！、快適なハイキングコースなので歩いてみよう。

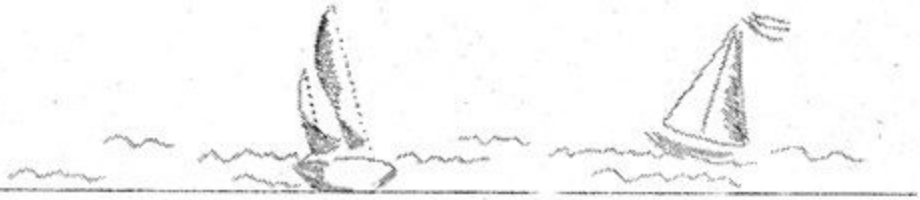
西の麓（ふもと）には伏姫（ふせひめ）が、かくれたという洞穴（ほらあな）があります。

スカウトのお父さんの…その

岩井の海　日程／8月6,7,8,9日（3泊4日）

またジイサマの…そのまたヒイジイサマ…そのまたヒイ・ヒイジイサマの…という…約1千年も前から生えている、天然記念物の大きな大きなソテツという植物が富山（とみやま）へ行く途中にあります。その高さは7メートル、根のまわりは6メートルもあるのです。カブの口ープで計ってみたらどうだうね。

このような、海と山のすばらしい「岩井のキャンプ」は、君達の体力づくり、知的な興味を充分に満してくれるとリーダー達は願っています。



水難事故防止法

水上留次郎

私がBS臼野2団に奉仕をはじめてから、13年目で、初めて海のキャンプに同伴することになりました。

東北・北海道で20回の海のキャンプを無事故で過した体験から、水難事故防止について申し上げましょう。

1．絶対にリーダーの指示に従って行動する
2．準備体操を行う
3．食後2時間は泳がない
4．人のいない所では泳がない
5．リーダーは陸上と水上から充分に監視する
6．スカウトは2人を1組でボデイを組み、相手を見失なわないように注意する
7．ふざけたり、いたずらをしない
8　危険を感じたら大声で救いを求める
9．いくら面白く楽しくても20分以上は水に漬っていないで上がる

特集　58年　夏のキャンプ地紹介

10・沖に出ず岸に沿って泳ぐ

水に入る時の注意

水に入る場合には、次の順序で体をならして行くのが良いとされています。

第1・太腿（ふとももと）の中頃位まで、じよじよに水に入る
第2・上体を曲げて、顔に水をかける
第3・両腕に水を良くかける
第4・脇（わき）の下に水をかける
第5・首の後に水をかける
第6・胸に水をかける
第7・ついで腰位の所まで水の中に入る
第8・もう一度、第1から第7までの事を繰り返す
第9・そこで静かに水の中に腰を降して首までつかり、そのまま1分間つかっている
第10・そして、ヒヤリとするショックになれてから泳ぎはじめる

ガブ2団1隊

まほろば

2団2隊　中島　敬

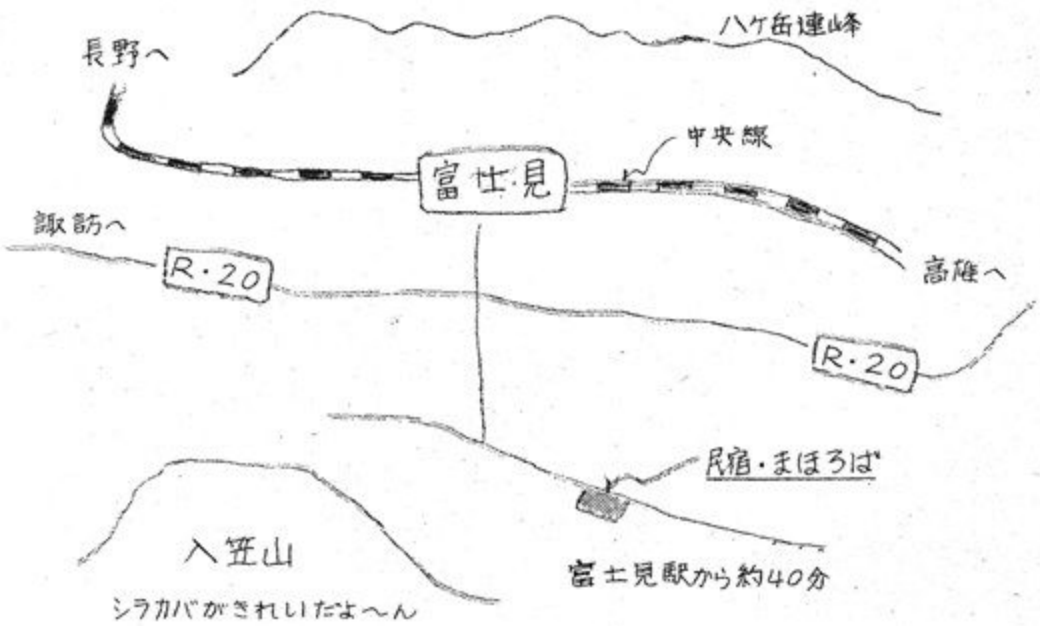
今年度の夏キャンプは、従来行われていた3隊合同の形をとらず、各隊別個の活動プロに基ずいたキャンプ地を各々考えて見ました。

2隊は、数年前に使用した長野県富士見町の「民宿まほろば」を使うことになり、その準備が現在、着々と進んでおります。

2隊の今年度目標である「スカウティングの基本」という事に重点をおいた活動、また、スカウト本来の姿、精神の追求をしてみたいと考えます。

子供達一人一人が、自分で作りあげる、自分で考える、自分で判断するという事。また、何が善で何が悪であるという事を勇気ある行動がとれる積極的な人間に成長してくれる事が、私の願いです。

まほろば　日程　7月28, 29, 30, 31日（3泊4日）



さらに、山の自然の中で、自分達だけの世界で規則正しい生活を送る中で、ルールの大切さ、また、自然の摂理を身を持って体験する事のすばらしさ、自然への感謝、自然の神秘を心で受けとめてくれることを願います。

ただ、この結果が、いますぐに表われる事を望むのではなく、彼らの遠い将来をみつめて、スカウトの心がはぐくまれる事を願い、キャンプを成功させたいと思います。

今夏のキャンプは、団はじめての自炊キャンプです。参加団委員・ご父兄の皆々さまにはご苦労をおかけしますが、よろしくお願い申しあげます。

・場所　長野県諏訪郡富士見町
富士見6541
民宿・まほろば
電話－02666-2-2569

特集／58年　夏のキャンプ地紹介

ボーイ2団,5団

天使園

2団隊長／小泉和幸

みんなが待っていた夏キャンプも、もうすぐです。

場所は山梨県北巨摩郡にある標高2230メートルの、みずがき山のふもと、天使園です。今までの訓練の成果をフルに発揮して、楽しいキャンプにしましょう。

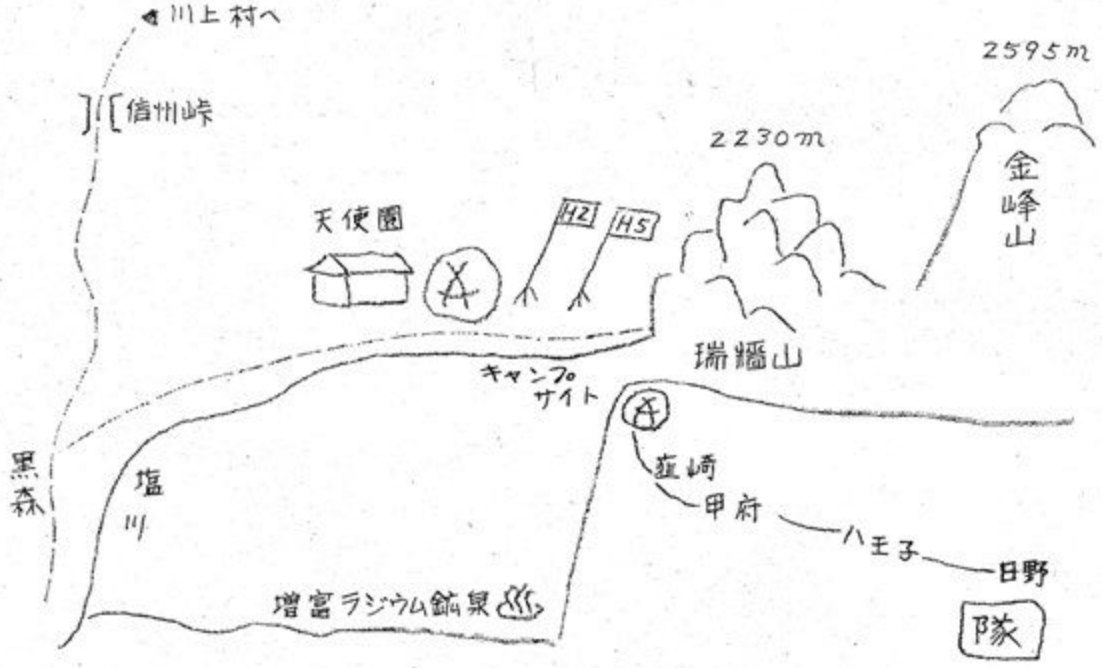
簡単にプログラムの紹介しておきます。

・7月28,29日

現地到着後，開営式の後、班のキャンプサイト作りを2日間かけてやります。テント張り、カマド、食器だな、トイレ、物干場、食卓、庭、塀、囲いなど、各班それぞれの個性を出して、頑張って立派なサイトを作りましょう。

・7月30日

立派なわが家も出来上がり、いよいよこの日は冒険の旅に出ます。目的地は、今はヒミツで



天使園　日程　7月28,29,30,31,8月1日(4泊5日)

すが、途中には、いくつも困難な課題が、君たちを待ち受けていますから、班員全員が一致協力して、この難関をクリアーしましょう。

奉仕というテーマに基づき、畑仕事を手伝ったり、キャンプ場周辺の美化に努めます。

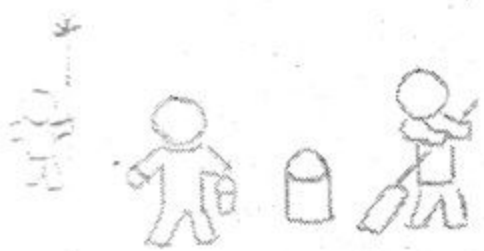
そして夜には、このキャンプに対する感謝の気持ちをこめて日野2団、5団合同の大キャンプファイヤーが催されます。

みんな日頃の練習の成果を発揮した、すばらしいスタンツを見せて下さい。リーダーも……

・8月1日

キャンプサイトの各班ごとの見学をした後、撤営にかかり、閉営式の後、東京に帰えります。

みんな健康には充分注意して夏キャンプには、ひとりも欠けず全員で、各班参加しましょう。



☆スカウト豆辞典

スカウツ・オウンの例

台を中心に馬てい形、または台なしで円形に集まります。

1・開式の祈り
2・聖歌
3・掟（さだめ）の復誦
4・掟（さだめ）に対する祈り
5・聖歌
6・主の祈り
7・聖書朗読
8・夜話
9・決意
10・聖歌

以上

これは、ほんの1例ですが、ほかにもいろいろの方法があります。

できるだけ多くのスカウトが分担を持つようにして、神の存在を本心から意識し、神を尊崇する態度で、神に誠をつくして行います。

（水上留次郎）

特集／58年　夏のキャンプ地紹介

シニア隊

谷川縦走

副長／石塚俊彦

今夏のシニアキャンプは、隊はじめての上越三山縦走ーアコカレ？の谷川岳縦走と決った。

上越線・土合から谷川岳、一ノ倉岳（沢登りではない）、そして朝日岳を経て、ふたたび土合に戻るコースで、一ノ倉沢、マチカ沢を眺めながら、シニアスカウトとしてのプログラムで行動する。

計画段階から、コース、装備、食糧手配など検討・準備委員会を設けた。また、全行程では、

図　東京77団(GS)夏期キャンプ予定

● シニア（中1～3）
日時　8／19～23
場所　GS日本連盟キャンプセンター戸隠キャンプ場で野営

● ジュニア（小4～6）
日時　7／26～28
富士吉田市立青少年センター内で野営

● ブラウニー（小2～3）
ジュニアと同じ
場所　ジュニアと同じ（舎営）

● レンジャー（高校生）
ブラウニーへの奉仕

・姉さん，妹も
がんばっています

谷川縦走　日程　7月31日(夜行), 8月1,2,3,4日(4泊5日)

各自任意（自分で選択した）の個人プロジェクトをこなす。シニアスカウト活動の本来の姿である。

企画から実行、反省というプロセスを充分に踏まえ、個人の成長と隊の発展を目標とするもので、次回からの良い参考にもなろう、参加4班の班行動によって、班員上下のつながりを強めていくのも今回の大きな目標であり、それが隼スカウト、富士スカウトへのひとつのステップとなる、大切なキャンプでもある。

各隊奉仕で自己研鑽を

ローバー班班長／野村和彦

私達ローバー班の年間活動の中で、7へ9月に「自己研鑽」を目標としていく。

この目標達成の具体的活動内容のひとつが、各隊への奉仕であり、そこに一番のポイントをおいた。それぞれ班員がリーダーとして各隊に奉仕する中で、また、各人の自己的なローバースカウトとしての目的意識を持って奉仕しようとするものである。

ただ単にリーダーの役目をするのではなく、ローバースカウトとして自己をきたえ、スカウト知識をたかめる中で「自己研鑽」を果たそうと思っている。

今夏のキャンプに向けて、各人がより一層張り切って、今まで活動してきたローバースカウトとしての成果をだせるよう頑張り、自分自身をみがきたいと思う。

各人の奉仕活動は次の通り

班長野村和彦→2団カブ2隊
次長北崎謙司→5団ボーイ隊
班員磯部昭典→2団ボーイ隊
〃　小林直人→2団シニア隊

以上4名がそれぞれの隊で奉仕の予定。よろしくお願いします。

◉ドクターからの特別寄稿

虫歯で時間とお金を失わないように

5団団委員／岩堀俊雄

じょうぶな体を作るためには、まず健康でなければなりません。では、口の中にたくさん虫歯のあるような子供が果して健康な日常生活を送っていると言えるでしょうか。

虫歯の多い子供の日常生活を見ると、毎日の生活が不規則な場合が多いものです。また、砂糖を多量に含んだオヤツの過食も問題です。

さて、砂糖の過食は、ただ、砂糖を摂り過ぎただけにとどまりません。砂糖のカロリーが高いために、他の食品が摂れなくなり、栄養のバランスを崩します。バランスの良い食事を摂るように心掛けると、意外に砂糖の過食は入り込みにくくなります。そして、バランスのとれた

教会関係　サマースクール行事予定

◉教会学校（日，土曜学校）

低学年（小1～2年）
- 日時　7／23～25
- 場所　五日市教会

高学年（小3～6年）
- 日時　8／18～21
- 場所　富士見・山の家

中学・高校生（家）
- 日時　8／15～16
- 場所　大蔵あたり

◉青年会
- 日時　7／29～31
- 場所　ラサール青柳山の家

◉教会・多摩ブロック行事

中学生練成会
- 日時　8／3～4
- 場所　みたけ山荘

高校生練成会
- 日時　8／9～13
- 場所　みたけ山荘

食事をきちんと空腹時に摂ろうとすると、生活リズムが、それなりに整っていなければなりません。それは —— つまり健康的な生活と言う事になりましょう。つまり、虫歯のできないような食生活と生活リズムが健康的なのです。

虫歯を作った時におこる負担を考えてみて下さい。まず、治療のための時間がかかります。そして、苦痛が伴ないます。お金がかかります。

逆に虫歯になるのを予防すれば、経済的な面と、時間の節約それに、あのイター イ苦痛を味わわずにすむ訳です。

虫歯予防は貯蓄と同様に考えられるという説があります。虫歯ができた時、治療してもらうために費用がかかります。その費用を貯めておけば 虫歯を作っても元通りに治してもらえるのですが、予防して虫歯ができなかった時は、その費用を使わずにすみます。……使わずにすんだその費用は、貯蓄と同じ意味を持つと考えるのです。

所で、虫歯はかなり予防できるという面があります。予防には、規則正しい生活、砂糖のとり過ぎをおさえる事。それにブラッシングです。

カブの年令というのは、一般的に独立心の芽ばえが顕著になる年頃です。自主性を子供に持たせる指導が、この年頃の子供の心身の成長に、とくに大切だと思います

❀さつき祭・うらかたの記

やきそばや

5団団委員／佐藤紘一

五月晴れの5月15日、光塩幼稚園のスベリ台のまわりに、1メートル四方の大きな鉄板2枚、プロパンボンベ、焼そば専屋風呂バーナーが用意された。さらに前日に用意された公称600食の材料が所狭しと置いてある。

調理開始は11時半、1食150

円で昼に販売開始である。

ほいほい！例年通りはじめは長蛇の列。ふたつの鉄板がフル稼動である。油と煙と材料の一大交響楽である。そう、ソースの匂いも味付けに一段と迫力をつける。売れた、売れたも一刻の夢か幻か、気が付けば売れ行きはバッタリ、疲れは汗とともにどっとでる。恒例ながら値下げの放送ーどっこいどうやら全食完売。となりのアメリカンドックの衣が過剰とか、ただちに鉄板の上は・特製アンドウ焼き、ヨカッタネー。

ちょうどその時、申まれたか？天の涙。汚れた鉄、'を洗い流してくれた。

ボーイスカウトの'仕で、味のわるさ（うまかったよー外野の声）をカバーしてくれたためか、お客様からの文句はなかった。ボーイのみんなが、労働の尊さ、楽しさを少しでも身につけたのではないかと念じて筆をおくが、材料をきざんで下さったお母様、ご協力下さった皆さん、ありがとう。

■ 紹介します

初めてのカブ冬季舎営の感想文です。
ローバー、シニア、ボーイをむかし、カブであった時を想いおこして下さい
以下はカブ３君のレポートです。

足がツメタカッタノダ

２団／隊／組／長田健吾

ぼくはカブにはいってから楽しいことがふえました。一ばんたのしかったのはゲームや竹うまをつくったことです。ゲームのとき山の中にはいって、草で足を切ったりしました。右あしのけがは今でもわかります。

それから、冬のキャンプでかっこいいかんこうバスで山梨県にいきました。夜、星ざを見にいきました。とってもきれいでした。でもさむかったです。

田場リーダーやーのせりー分ーが星の話をしてくれました。

にくかったです。

それに、あしがすごくつめたかったです。こたつにいれてもうえなくてすごくくやしかったです。

カブにはいってから楽しいことも多いけれど、いやなこともあります。でも早くがんばって組長になってみたいです。カブをおえボーイをおえてシニアまでつづけてみたいです。

これからもがんばります。

星空と富士山

2団1隊2組／須崎正哲

冬のキャンプは、キャンプ活動の中でも一番短いキャンプです。バスの中でゆらゆらとゆられながらぼくたちがとまる、さく水荘についたのです。これから活動は開始なのです。

夜には山中湖周辺を歩きました。外は大変暗いので、みんなのことが心配で、ぼくもびくびくしました。夜の活動は無事に終ってさく水荘につきました。

この活動の目的は星座を自分の目で見ようという目的だと思います。オリオン座があってペテルギウス・帯（おび）をしめる三つ星を見ました。オリオン座は帯をしめる三ッ星でわかります。

二日目の朝、夜おそくまでしゃべっていたので、みんなねむそうでした。とうぜんぼくも…

翌朝はマラソンをしました。富士山のなかめは最高です。山奥に入ってソリ遊びをしましたが、雪が少ないので雪をあつめてやっと出来ました。もうやり出したらぼくはむちゅうです。

昼食の時間になったのに、ぼくたちは遊んでいて、一番ビリに昼食を食べました。だからお腹がすいていてとてもおいしい昼食でした。

今ふりかえってみるとあの美しい星空や、富士山をながめながら遊んだことが良い思いでです。一泊二日の短い間だったけれど、とても楽しいキャンプでした。

早くほんもののカブスカウトになりたい

5団3組ふく田たけし

ぼくは、今、カブスカウトの新入たいいんです。カブスカウトに入る前にどんなことをするのかなあとまちどおしかったです。

一番さいしょにやったことは、エスキモーの火おこしでした。ぼくたちの組では、虫めがねをつかってしました。ぼくは、マッチやガスやライターなどをつかわないで、火をおこすのは知らなかったです。

キャンプに行ったことも楽しい思い出です。テレビのついているデラックスな京王バスにのって、中おう自どう車道を通って山中こに行きました。

夜には星をみんなで見に行きました。ぼくは、北と七星をさがして、やっと見つけました。

行きも帰りもふじ山は、雪をかぶって、ちょう上まできれいに見えました。ぼくは、ふじ山をあんなに近くで見たのは、はじめてでした。

いよいよ四月から、カブスカウトのせいふくをきるのが、楽しみです。ぼくの目ひょうは、自分のことを自分ですることです。早くほんもののカブスカウトになれるように、がんばります。

〔58年3月～6月〕

団委員会
BS・GS 合同会議報告

2団団委員／石井早美
5団団委員／森　明彦

会議日　3月19日(土)第1回団委員会

- 各担当委員の責任範囲
- 地区との関係強化、地区役

新旧委員が出席、各担当別の職務の分担を決める

水上留次郎氏　協議会副会長
ロワゼール神父　宗教特別委員長

員に推せん	志村馨代　　障害児特別委員長 金子哲也代　　ローバー担当副コミッショナー
・財政について	ハウスの電気代、水道代は、現在修道院で負担して下さっている。修道院は子供の教育のために予算があるので、その費用はいらないといわれる。 教会に対しては、施設の使用料という形で一部費用の負担をする。具体案については、育成会委員（岩本、山手）に一任する。（GSとも協議する）
・労力奉仕	以上について、ボーイとしては、 ①後片付け、掃除をきちんとする。 ②餅つきなどへのご招待 ③労力奉仕をする ・なお、労力奉仕の具体案は、神父様から修道院の意向を伺い、他日実施する。
・研修ほか	・ウッドバッヂ研修所カブ47期（4/28～5/1）に3名参加 ・単スカウトの面接，2名申請中
・月の輪キャンプ	・月の輪キャンプ3/19～21，青柳で実施中、スカウト25名，リーダー5名参加，団委員3名奉仕
・シニア・アドベンチャーキャンプ	・3/25～30，北八ヶ岳で実施する．リーダー4名，団委員2名奉仕
・地区1級キャンプ	・4/1～3に行われる。ボーイ8名参加費用は連合協議会補助5千円、隊補助2千円、個人負担3千円、計1万円

・日米フレンドシップ・パトローリー	・3/26～27　今年は参加せず
・既政担当委員の分担	・ボーイ，シニア隊関係は浅井委員 ・カブ隊関係は服部委員が受持つ 都合によっては、どちらにいって頂いてもよい
・4月の予定	（略）
会議 ☆	7月17日（日）第1回BS・GS合同会議
・さつき祭	（略）
・CBSのあり方について	教会，メルセス会とのつながりを強化しよう。日常的に宗教面を取り入れるべきだ。BS・GSは兄妹として、もっとプログラムの連絡をとりあってやるべきだ。 ・月はじめのセレモニーはきちんとやろう。 ・3ヶ月に1回ずつ，2団，5団，77団で当番制でやろう
・15周年準備	8月14日までに基本方針を決め、実行委員会を作ろう。59年3月までにプログラムと予算を組もう。59年を準備年間として、60年に実施しよう
・ハウスに電話をの案について	スカウトハウスに公衆電話を設置して欲しいという要望があったが、スカウト活動には電話は不要であり，大人のためにもぜいたくである。ハウスのない団もあるのだから、利用頻度の低い電話設置は止めよう。子供を過保護にしないためにも
・特別基金	（略）別項参照
会議 ▨	4月17日（日）第2回団委員会

・地区協議会総会報告	地区表彰者7名（前記）については、5／8のセレモニーで，団で表彰状伝達式を行う
・連盟研修所終了者(57年)	・カブ＝市野瀬辰雄　ボーイ＝小沼尚文 同＝市毛俊幸　同＝島田巌　同＝増岡順 シニア＝渡辺博隆の諸氏 ・団委員長特修章＝木上留次郎氏
・カブ夏キャンプ地の件	2団1隊，5団は千葉県岩井海岸を希望 近日中に下見する
・さつき祭	5/15・9：20～15：00まで，模擬店は幼稚園庭、ボーイは焼そば（400食），豚汁(150食）担当。当日設営は4名応援．食券はリーダーにも自己負担していただく
・教会施設使用協力分担金の件	57年決算を見てから決定したい。財源確保とコミュニケーションのため、バザーをやったらどうか
日野市連合協議会監査報告	2団，5団は賛助会員の募集が また．指導者養成費の支出が少い
会議	5日8日（日）第3回団委員会
・カブ夏キャンプ地の件	・岩井海岸のキャンプ場（民宿）を5/1に下見の結果，問題ないとの報告．危険絶無とはいえないが．プログラムで充分考慮していただく． ・2団2隊は長野県富士見の「民宿まほろば」を希望，5/22下見に行く
・ボーイ夏キャンプ地の件	山梨県黒森平天使園を希望
・さつき祭	5/14午後設営　5/15・8：00から準備

	シニア隊はポプコーン担当
・連合協議会指導者養成費について	積極的に補助を受けるように、まず、レポートを提出してもらい、団での立替え払いはやらない
・保険について	4/3にスカウト保険（58年度）を契約した。ワゴン車の保険は7～8月の短期で加入したらよい
・施設基金運営委員選出	特別基金の後を継ぐ，施設基金運営委員は、次の4氏を選出した。志村、長谷川，岩本，森
・6月の予定	（略）
・神父様の休暇帰国	6/3へ9/10まで，カナダに休暇帰国される予定

会議 ▨ 6月12日（日）第4回団委員会

・育成会総会の件	6/26開催（6/19に案内状を配る） 会計報告案了承（2団，5団，育成会） 会計監査は6/18に行う
・経費負担の件	・ワゴン車の車検費，税金などは育成会から支払い ・教会施設使用協力分担金はボーイ6万円（年間），同ガール3万円をお払いする事
・修道院への奉仕の件	ハウス東側林の下草刈りを希望しておられる．長期的に考えたい。父兄に呼びかけ、今年はできるだけの範囲で行う。 計画は志村、安藤両氏にお願い
・各委員報告	・指導者養成一地区の安全救護講習会。5月から11月まで各月1回実施中。地区の指導者講習会（6/19）実施。3名参加

・進歩ー菊スカウトの面接申請を今月中に行う。野営法の講習は研修所に行く人は必ず受講するように
・ローバーの東連キャンプ(6/24～26)に3名参加
・健康安全ー破傷風の注射を6/26 正午から実施。梅木先生にお願い。1人500円
ツツガムシ病予防のため、リペラン購入
・野営行事ーさつき祭報告、夏季キャンプ予定報告、団委員の支援依頼あり
・庶務ーネッカチーフを至急補充の必要あり。樫根さんが縁どりをやって下さる

・その他
・稲城第2団発団式ー6/19・10:00から
・ファミリーテント(リーダー用)を連

行事

・復活祭
4月3日(日)
スカウトミサを8:30からたてていただく。シニアは教会ミサ(10:00)に参加

・ボーイ上進式
4月9日(土)
誓いの式 19:00から教会および山中で実施。上進者25名

・入隊式・上進式
4月10日(日)
10:30から山中で実施。入隊者30名

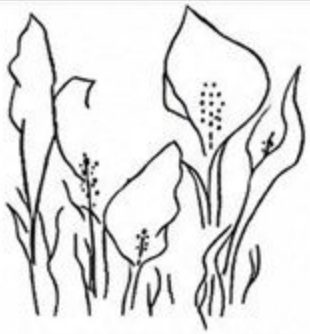
・南多摩地区協議会総会
4月16日(土)
今年の地区表彰(永年功績)は7名
・猪股末男, 駒形正彦, 仁賀田元, 川原博, 小泉和幸, 長谷川勝人, 駒形千代子の諸氏

	谷協で４張購入，日野２，５団，77団に１張貸与
・連合協議会指導者養成費について	・連合協賛助会員（58年度）（２，５団扱い）は副27名となった
・保険について	・共同募金からの配分額として２万５千円入金（なお，57年の２，５団の募金額合計115,387円であった）
・施設基金運営委員選出	・陣営児ファミリーキャンプ（東連）を７/23～25山中湖野営場で実施
会議 ☆	６月19日（日）第２回ＢＳ・ＧＳ合同会議
・夏季キャンプ	・ボーイ関係は別掲。ＧＳはブラウニー（舎営）とジュニア（野営）が７/26～28，シニアは8/19～23，レンジャーはジュニアへの奉仕ー場所ほかは別掲
・神父様不在中の体制	整理・整頓を確実に，清潔にする事（とくに水屋の周辺）
・連合協報告	（略）
・スカウト祭について	７月中旬に臨時合同会議をひらき決める その前に実行委をひらき立案する

特別基金中間報告

・57年度育成会総会で説明

事務局／長谷川，森



いやさか25号で報告のように特別基金を解散，新たに拠出制の「施設基金」を作ることになり，４月から加入金の返済作業に入っています。予定より若干遅れており，また，その作業は

途中です。前回56年2月の総会で報告して以来の会計の状況を述べて中間の報告とします。

保留分は、現在、口座番号問合せ中のもの、居所不明のものなどで、この内相当数が、居所不明で残るものと推定されます。これらの分は別口定期預金として残しておき、残金は施設基金へ引き継ぐ予定です。

なお、施設基金は、現在26万5千円の入金があり、特別基金からの移行分と合せて約100万円でスタートできるものと思います。また、施設基金の運営委員としては次の7名が指名されています。

ロワゼール神父、志村、岩本、長谷川、森、永野（ガール）、神辺（ガール）。

特別基金の現況は下記の通りですが、特別基金の清算が終り次第、改めて報告書を提出する予定です。以上疑問の点があれば、事務局へご質問下さい。

●収入の部

56年2月

現金預金	1,477,383円
普通利息	3,088
定期利息	199,206
加入金受入	205,000
計	1,884,677

●支出の部

誤り・返金	22,500円
スカウトハウス建設費	164,798
事務費	4,000
手数料	1,600
加入金返済	238,000
計	430,898

●差引残高 1,453,779円

●今後の支出予定

返済金	180,000
別口	530,000
手数料	5,000
計	715,000

●差引残高（施設基金へ）予定

計 738,779円

※特別基金加入総額

3,415,000

返済（予定も含む）

938,000

（内保留 530,000）

寄付 1,947,000

56.2.17～58.6.25

事務局 森 ㊞

日野2団
日野5団
登録者現況
〔58年6月末〕

◍2団	
SSリーダー	3名
BSリーダー	4名
CSリーダー(含D.M.)	17名
団委員	13名
指導者 計	37名
・ローバースカウト	7名
シニアスカウト	24名
ボーイスカウト	34名
カブスカウト1隊	27名
〃 2隊	29名
スカウト 計	121名
◍5団	
BSリーダー	4名
CSリーダー(含D.M.)	9名
団委員	11名
指導者・計	24名
・ボーイスカウト	40名
カブスカウト	28名
指導者・計	68名
◍2団, 5団登録者合計	250名

昭和57年度
高幡CBS
育成会総会報告

昭和58年6月26日(日)14時から光福幼稚園講堂で、多数の会員が参集、開かれました。

・会長あいさつ
(ロワゼール会長が休暇のため、水上副会長あいさつ)

・57年度事報告
小泉副会長から概略の説明がなされました。

・57年度決算告(次頁)
岩本財政担当が報告しました。

・特別基金中間報告(22〜23頁)
森担当から説明がありました。

・その外
電話連絡網については、58年度の名簿、父兄連絡網(4頁)通り、最終者は、トップに戻すように(小泉)

・奉仕について
スカウトハウス、修道院庭、道路脇などの草刈要請(安藤)

昭和57年度高幡CBS育成会決算書

収入の部		支出の部	
(1)前年度よりの繰越金	431,896円	(1)日野2団運営費	1,126,118円
(2)育成金費 2,310人×3000円	6,931,400	(2)日野5団運営費	690,124
(3)入団金 24人×2,000円	48,000	(3)キャンプ費	4,098,454
(4)協議会助成金	60,000	(4)BNJ参加費補助金	297,489
(5)雑収入	178,809	(5)事務用消耗品費(含ロやさか10周年記念誌)	410,998
(6)保険金入金	240,000	(6)会議費	15,930
		(7)銀行振込手数料	39,600
		(8)返金分	253,100
		(9)自動車諸費用	85,050
		(小計)	7,016,863
		次期繰越金	873,242
	7,890,105円	合計	7,890,105円

昭和57年度日野2団決算書

収入の部		支出の部	
育成会より交付	1,126,118	ボーイ隊費	380,585円
		備品費	127,630
		登録保険料	220,280
		行事費	87,755
		上部団体費	155,200
		投与品費	65,555
		事務雑費	118,934
		図書費	19,957
		慶弔費	30,220
合計	1,126,118円		1,126,118円

昭和57年度日野5団決算書

収入の部		支出の部	
育成会より交付	690,124円	ボーイ隊費	163,156円
		備品費	5,550
		登録保険料	124,753
		行事費	74,848
		上部団体費	115,150
		投与品費	61,135
		事務雑費	108,909
		図書費	6,403
		慶弔費	30,220
合計	690,124円		690,124円

高幡CBS育成会事務担当
[illegible]光雄 ㊞

日野2団財務担当
浅井伸一 ㊞

日野5団財務担当
阪部康之 ㊞

会計監査
八木沢晴子 ㊞
松本泰子 ㊞
(58.6.18)

27号の編集を終えて

◆新らしく島村氏を迎え、第1号の「いやさか」（通算27号）をお届けすることができた。

今年はカブ隊が海と山に分れてキャンプし、シニア隊は谷川縦走を試みるなど、楽しい計画がある。どうか本誌によって、父兄の方々に少しでもお子様と楽しさをへち合っていただけたらと念じている。次号には、またスカウト達の作文が多数掲載されることを期待している.(M)

◆前任の橋本さん長い間ごくろうさまでした。同人誌的な雑誌作りは久し振りなので、レイアウトなど見苦しい点はご了承下さい。カブの海キャンプ用にと水上先生から貴重な原稿をいただきました。虫歯については、ドクター岩堀氏の特別寄稿を、ジャン・ルボ師にもお願い…とそれなりに編集企画をたてました。次号では「キャンプの感想」を特集する予定です。（S）

SANCTA LUCE SCOUTS

◉いやさか　27号　　非売品
発行　昭和58年7月17日

発行者
日本ボーイスカウト
東京　日野第2団、第5団
高幡CBS育成会
発行所
日野市程久保130
高幡カトリック教会
編集担当者
石井早美　森　明彦
島村宣幸
孔版・印刷　小笠原康子